

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4874336号
(P4874336)

(45) 発行日 平成24年2月15日 (2012. 2. 15)

(24) 登録日 平成23年12月2日 (2011. 12. 2)

(51) Int. Cl.	F I
B 6 5 D 41/34 (2006. 01)	B 6 5 D 41/34
B 6 5 D 41/46 (2006. 01)	B 6 5 D 41/46
B 6 5 D 41/04 (2006. 01)	B 6 5 D 41/04 G

請求項の数 20 (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2008-523926 (P2008-523926)	(73) 特許権者	599006683
(86) (22) 出願日	平成18年7月14日 (2006. 7. 14)		レクサム プリ스크リプション プロダク
(65) 公表番号	特表2009-502676 (P2009-502676A)		ツ インコーポレイテッド
(43) 公表日	平成21年1月29日 (2009. 1. 29)		アメリカ合衆国 オハイオ州 4 3 5 5 1
(86) 国際出願番号	PCT/US2006/027359		ペリーズバーグ ノース ウィルキンソ
(87) 国際公開番号	W02007/015751		ン ウェイ 1 8 9 9
(87) 国際公開日	平成19年2月8日 (2007. 2. 8)	(74) 代理人	100082005
審査請求日	平成21年7月14日 (2009. 7. 14)		弁理士 熊倉 禎男
(31) 優先権主張番号	11/190, 034	(74) 代理人	100067013
(32) 優先日	平成17年7月26日 (2005. 7. 26)		弁理士 大塚 文昭
(33) 優先権主張国	米国 (US)	(74) 代理人	100065189
			弁理士 穴戸 嘉一
		(74) 代理人	100088694
			弁理士 弟子丸 健

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 チャイルドレジスタントクロージャ、及び非チャイルドレジスタント操作に変換可能なパッケージ

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

チャイルドレジスタント操作モード及び非チャイルドレジスタント操作モードを有するパッケージであって、

開口端のあるネック口部 (26)、前記開口端を包囲する外面 (32)、及び前記開口端から間隔を隔てた少なくとも一つの第1雄係合要素 (34) を有する容器 (22) と、ベース部分 (44)、前記ベース部分から延びるスカート (46)、及びチャイルドレジスタント操作モードにおいて前記ネック口部に形成された前記第1雄係合要素と係合するための、前記スカートに設けられた少なくとも一つの第2雌係合要素 (48) を有するクロージャ (24) を含み、

前記第2雌係合要素を含む前記スカートは、前記クロージャをチャイルドレジスタント操作モードから非チャイルドレジスタント操作モードに変換させるために、前記ベース部分から切り離し可能であり、

前記ネック口部の外面と係合して、チャイルドレジスタント操作モードにおいて前記パッケージを密封するための、前記スカート内にある第1環状要素 (68)、及び前記スカートが前記ベース部分から取り除かれた非チャイルドレジスタント操作モードにおいて前記容器のネック口部に前記クロージャを固定するために前記開放口と係合するための、前記第1環状要素から半径方向内方の第2環状要素を含むこと、

を特徴とするパッケージ。

【請求項 2】

前記第 1 及び第 2 環状要素（68, 70）は、前記ベース（44）及び前記スカート（46）と異なる材料構造のものである、

請求項 1 に記載のパッケージ。

【請求項 3】

前記ベース部分（44）及び前記スカート（46）は、比較的硬いプラスチック構造のものであり、且つ前記第 1 及び第 2 環状要素（68, 70）は、比較的撓みやすい弾性プラスチック構造のものである、

請求項 2 に記載のパッケージ。

【請求項 4】

前記クロージャは、前記比較的撓みやすい弾性プラスチック構造のものであり、前記非チャイルドレジスタント操作モードにおいて前記ネック口部（26）の端と密封係合するために、前記第 1 環状要素と第 2 環状要素（68, 70）の間に延びる環状バンド（74）を含む、

10

請求項 3 に記載のパッケージ。

【請求項 5】

前記第 1 及び第 2 環状要素（68, 70）、並びに前記バンド（74）は、前記スカート内の前記ベース部分にその場で成形された、

請求項 4 に記載のパッケージ。

【請求項 6】

前記容器のネック口部の前記第 1 係合要素（34）は、少なくとも一つの雄ねじ山部分を含み、

20

前記スカートの前記第 2 係合要素（48）は、少なくとも一つの雌ねじ山部分を含み、一方の前記ねじ山部分は、突起（36）を含み、他方の前記ねじ山部分は、前記突起を受け入れるポケット（50）を含み、

前記第 1 環状要素（68）は、前記外面（32）と協同して前記パッケージを密封し、且つ前記突起を前記ポケットに押し入れ、

前記クロージャは、前記クロージャを前記容器のネック口部から取り外すために前記突起が前記ポケットから離れるまで前記第 1 環状要素の力に抗して前記ネック口部に関して押されなければならない、

請求項 3 に記載のパッケージ。

30

【請求項 7】

前記突起（36）は、前記少なくとも一つの雄ねじ山部分（34）に配置され、且つ前記ポケット（50）は、前記少なくとも一つの雌ねじ山部分（48）に配置される、

請求項 6 に記載のパッケージ。

【請求項 8】

前記少なくとも一つの雌ねじ山部分（48）は、前記容器のネック口部への前記クロージャの締め過ぎを防止するために、前記少なくとも一つの雄ねじ山部分（34）の端部（54）と協同するねじ停止部（52）を含む、

請求項 7 に記載のパッケージ。

【請求項 9】

40

前記スカート（46）の端に脆弱的に連結されたタンパーバンド（60）、及び前記クロージャが前記容器のネック口部から最初に取り除かれたときに前記タンパーバンドを前記スカートから分離するために、前記タンパーバンドと係合可能に前記容器のネック口部に設けられた外部ビード（38）を含む、

請求項 3 に記載のパッケージ。

【請求項 10】

非チャイルドレジスタント操作モードに変換可能なチャイルドレジスタントパッケージであって、

開口端のあるネック口部（26）、前記開口端を包囲する外円錐面（32）、及び前記開口端から間隔を隔てた少なくとも二つの雄ねじ山部分（34）を有する容器（22）と

50

、
ベース部分（４４）、前記ベース部分に脆弱的に連結されたスカート（４６）、及び前記スカートに設けられた少なくとも二つの雌ねじ山部分（４８）を有するクロージャ（２４）と、

前記クロージャを前記ネック口部から付勢し、且つ前記パッケージを密封するために、前記ネック口部の前記外円錐面と係合可能に前記スカートから半径方向内方で、前記ベース部分に設けられた第１環状要素（６８）と、

前記容器のネック口部の前記開口と係合可能に、前記第１の環状要素から半径方向内方で、前記ベース部分に設けられた第２環状要素（７０）と、を含み、

前記第１及び第２環状要素は、前記ベース部分と異なる材料構造のもので、前記ベース部分にその場で成形され、

前記雌ねじ山部分及び雄ねじ山部分は、突起（３６）及びポケット（５０）を有し、当該突起及びポケットは、前記突起を前記ポケットから離すのに十分な前記第１環状要素に抗する力を欠くチャイルドレジスタント操作モードで、前記容器のネック口部からの前記クロージャのねじ外しを防止し、

前記スカートは、前記クロージャを前記容器のネック口部に固定するために、前記パッケージを前記第２環状要素が前記開口内にスナップ嵌めによって受け入れられる非チャイルドレジスタント操作モードに変換するために前記ベース部分から取り外せること、

を特徴とするパッケージ。

【請求項１１】

前記スカートの端に脆弱的に連結されたタンパーバンド（６０）と、

前記クロージャが前記容器のネック口部から最初に取り除かれたときに前記タンパーバンドを前記スカートから分離するために前記タンパーバンドと係合可能に前記容器のネック口部に設けられた外ビード（３８）とを含む、

請求項１０に記載のパッケージ。

【請求項１２】

前記ベース部分（４４）及び前記スカート（４６）は、比較的硬いプラスチック構造のものであり、

前記第１及び第２環状要素（６８，７０）は、比較的撓みやすい弾性プラスチック構造のものである、

請求項１０に記載のパッケージ。

【請求項１３】

前記クロージャは、前記非チャイルドレジスタント操作モードにおいて前記容器のネック口部の端と密封係合するために、前記第１環状要素と第２環状要素（６８，７０）の間に延びる前記比較的撓みやすい弾性プラスチック構造の環状バンド（７４）を含む、

請求項１２に記載のパッケージ。

【請求項１４】

前記第１及び第２環状要素（６８，７０）並びに前記バンド（７４）は、前記スカートの前記ベース部分にその場で成形される、

請求項１３に記載のパッケージ。

【請求項１５】

クロージャであって、

ワンピースの比較的硬い一体のプラスチック構造のクロージャシェル（４０）であって、ベース部分（４４）、前記ベース部分に脆弱的に連結されたスカート（４６）、前記スカートに形成された少なくとも一つの雌ねじ山部分（４８）、及び前記雌ねじ山部分に設けられたチャイルドレジスタントロック要素（５０）を含むクロージャシェルと、

比較的撓みやすい弾性プラスチック構造で前記ベース部材にその場で成形され、前記スカートから半径方向内方に間隔を隔てた第１環状壁（６８）、及び前記第１環状壁から半径方向内方に間隔を隔てた第２環状壁（７０）を有するライナー（４２）と、を含み、

前記第１環状壁は、前記クロージャが前記容器のネック口部に螺合されるとき、容器の

10

20

30

40

50

ネック口部と外部係合可能に配置され、

前記第2環状壁は、前記スカートが前記ベース部分から脆弱的に取り外されたときに、容器の口と内部スナップ係合可能に配置されたこと、
を特徴とするクロージャ。

【請求項16】

前記ライナー(42)は、前記容器のネック口部の端と密封係合するために、前記第1環状壁と第2環状壁(68, 70)の間に延びる環状バンド(74)を含む、

請求項15に記載のクロージャ。

【請求項17】

前記クロージャシェル(40)は、前記スカートに脆弱的に連結されたタンパーバンド(60)を含む、

請求項16記載のクロージャ。

【請求項18】

(a) ベース部分(44)、前記ベース部分に脆弱的に連結されたスカート(46)、前記スカートに設けられた少なくとも一つの雄ねじ山部分(48)、及び前記雄ねじに設けられたチャイルドレジスタントロック要素(50)を含む、ワンピースの一体に成形された比較的硬いプラスチック構造のクロージャシェル(40)を準備し、

(b) 比較的撓みやすい弾性プラスチック構造のライナー(42)を前記ベース部分に成形し、前記ライナーは、前記スカートから半径方向内方に間隔を隔てた第1環状壁(68)、及び前記第1環状壁から半径方向内方に間隔を隔てた第2環状壁(70)を有すること、

を特徴とするクロージャの製造方法。

【請求項19】

前記ステップ(b)における前記ライナー(42)は、前記第1環状壁と第2環状壁(68, 70)の間に延びる環状バンド(74)を含む、

請求項18に記載のクロージャの製造方法。

【請求項20】

前記ステップ(a)における前記シェル(40)は、前記スカートに脆弱的に連結されたタンパーバンド(60)を含む、

請求項19に記載のクロージャの製造方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本開示は、非チャイルドレジスタント操作に変換可能なチャイルドレジスタントパッケージ、このようなパッケージのためのクロージャ、及びこのようなクロージャの製造方法に関する。

【背景技術】

【0002】

米国特許公報第20050103741A1号は、容器の口に隣接した少なくとも一つの雄ねじ山部分、及び容器の口から間隔を隔てた外部の偏向可能なロック要素を有する容器を含む、チャイルドレジスタントパッケージを開示する。クロージャは、容器の雌ねじ山部分と螺合するための少なくとも一つの雌ねじ山部分を有する第1部分、及び容器の偏向可能なロック要素と係合するためのロック要素を有し、第1部分と脆弱的に連結された第2部分を含む周囲スカートを含む。クロージャスカートの第2部分が第1部分に連結されると、パッケージは、クロージャを解放して容器とのねじ外しするには、容器のロック要素の偏向を要求するチャイルドレジスタント操作をするようになっている。クロージャスカートの第2部分がユーザによって取り除かれるときには、クロージャは、非チャイルドレジスタント操作モードにおいて、単に容器に螺合させたり外したりすることができる。

【発明の開示】

【0003】

本開示の一般的な目的は、非チャイルドレジスタント操作モードでは、スナップキャップ操作をするようになった、チャイルドレジスタントパッケージ、クロージャ、及び／又はそのようなクロージャの製造方法を提供することにある。

【0004】

本開示は、別々に、又は組み合わせで実行することができる複数の側面を具体化する。

【0005】

本開示の第1の側面によれば、チャイルドレジスタント操作モード、及び非チャイルドレジスタント操作モードを有するパッケージは、開口端のあるネック口部、開口端を包囲する外面、及び開口端から間隔を隔てた少なくとも一つの第1雄係合要素を有する容器を含む。クロージャは、ベース部分、ベース部分から延びるスカート、及びチャイルドレジスタント操作モードにおいて、容器のネック口部の第1雄係合要素と係合するための、スカートに形成された第2内係合要素を有する。第2内係合要素を含むスカートは、クロージャをチャイルドレジスタント操作モードから非チャイルドレジスタント操作モードに変換するために、クロージャのベース部分から切り離せる。スカート内でクロージャに取り付けられた第1環状要素が、チャイルドレジスタント操作モードにおいてパッケージを密封するために、容器のネック口部の外面と係合可能に配置される。クロージャの第2環状要素が、スカートがクロージャのベース部分から取り除かれた非チャイルドレジスタント操作モードにおいて容器のネック口部の開放口と係合可能に、第1環状要素から半径方向内方に配置され、非チャイルドレジスタント操作モードにおいてクロージャをネック口部に固定する。第1及び第2環状要素は、好ましくは、クロージャのベース部分及びスカートのプラスチック構造と異なる、撓みやすい弾性プラスチック構造のものであり、好ましくは、クロージャのベース部分の内面にその場で成形される。好ましいが必ずしもではないが、タンパーバンドが、スカートの縁に脆弱的に連結され、クロージャが容器のネック口部から最初に取り外されたときに、容器のネック口部のダンパービードと協同して、タンパーバンドをクロージャのスカートから切り離す。

【0006】

開示は、追加の目的、特徴、利点、及びその側面と一緒に、以下の記載、添付した特許請求の範囲及び添付図面により最も良く理解されるであろう。

【発明を実施するための最良の形態】

【0007】

図1乃至2は、本開示の実施例によるパッケージ20を、チャイルドレジスタント操作モードにおいて容器22に付けられたクロージャ24を含むものとして示す。容器22（図1乃至4）は、適当な構造及び形状の側壁28から延びる略円筒形のネック口部26を含む。ネック口部26は、ネック口部の上端から延びる壁部分30を有する（「上」及び「下」のような方向の用語は、図1乃至4、6、8乃至9、及び11乃至12に示されるクロージャ、容器、及びパッケージの直立の向きに関して説明のために採用され、限定のために採用されていない。「半径方向」及び「軸方向」のような方向の用語は、クロージャ、スカート、及び／又は容器の開口の軸線に関して説明のために採用され、限定のために採用されていない）。壁部分30は、容器の上端の開放口から広がる円錐面32を有する。壁部分30は、好ましくは、半径方向内方にテーパした円錐形の壁であるが、外円錐面32を有する円筒形の壁部分でもよい。壁面32は、円錐形以外、例えば、部分ドーナツ形であってもよい。雄ねじ山部分34は、容器の開放口から間隔を隔てた位置で、容器のネック口部26の外面の周りに配置される。ねじ山部分34は、好ましくは、図3で最も良く解るように、一対の雄ねじ山部分を含み、その各々は、容器の開放口から遠方のねじ山部分の端から軸方向に延びる突起36で終わる。容器のネック口部は、容器の開放口から間隔を隔てた位置に、後述されるように、タンパー指示を提供するための、外部ビード38を含むのがよい。容器22は、好ましくは、ワンピースの一体成形プラスチック構造を有する。一例として、容器の円錐面32は、容器のネック口部の軸線に対して25度の公称角度であるのがよい。

【0008】

クロージャ24は、クロージャシェル40（図5及び6）を含み、該クロージャシェルは、その内部にライナー42を有する。図5及び6は、周囲スカート46に一体に連結されたベース部分44を含む、成形されたときクロージャシェル40を示す。少なくとも一つの雌ねじ山部分48、及び好ましくは一対の雌ねじ山部分が、スカート46に成形される。各雌ねじ山部分48は、容器のネック口部の外部突起36（図3）受け入れるための、ねじ山部分の下端（即ち、ベース部分44から遠方のねじ山部分の端）に隣接したポケット又は溝50を含む。各ねじ山部分48は、好ましくは、容器のネック口部の雄ねじ山部分の端54（図3）が容器のネック口部のに係合して、容器のネック口部へのクロージャの締め過ぎを防止するねじ山停止部を形成するための、ねじ山部分の上端に隣接した停止部52を含む。

10

【0009】

クロージャシェル40は、好ましくは、スカート46がベース部分44から脆弱的に分離できるように製造される（図2、5、6、及び8）。開示の図示した実施形態では、クロージャシェル40の内面に筋58が成形され、クロージャシェルに56で刻み目が施されたとき、脆弱なブリッジを形成する。変形として、筋58は削除され、脆弱なブリッジは、単一又は二重刻み目操作で形成される。さらなる変形として、スカート72は、クロージャのスカートに、クロージャシェルの成形操作中に形成されるブリッジによって脆弱的に連結されてもよい。開示の図示した実施形態では、クロージャシェル40は、例えば、筋62、及び線64に沿う刻み目等によりスカート46の下縁に脆弱的に連結されたタンパーバンド60を含む。開示の図示した実施形態では、停止フランジ66がタンパーバンド60の下縁から延び、容器のネック口部26のビード38（図2乃至4）と係合して、クロージャが容器のネック口部から最初に取り外されたときにバンド60をスカート46から切り離すために、成形後の作業で逆さにされる。

20

【0010】

クロージャシェル40の成形に続いて、クロージャのベース部分44の内面にライナー42が形成される。ライナー42は、適当な射出成形作業で、その場に成形され、より好ましくは、圧縮成形作業で成形されてもよい。あまり推奨されないが、第3の選択肢として、ライナー42は、別々に作られ、クロージャシェルに接着され、さもなければ接合される。ライナー42は、スカート46から半径方向内方に、ベース部分44から軸方向に延びる第1環状壁68を有する。第2環状壁70が、第1環状壁68の半径方向内方に配置される。開示の好ましい実施形態では、環状壁68は、ベース部分44から内方、且つ下向きに傾く円錐形である。環状壁70も好ましくは、ベース部分44から外方、且つ下方に傾く円錐形である。環状壁70は、環状壁68よりも短い軸方向寸法のものである。環状壁70は、好ましくは、0.5588ミリメートル（0.022インチ）の公称厚さのような均一の肉厚のものである。さらに一例として、壁70は、スカートの軸線に対して約12度の公称角度を有するのがよい。環状壁68は、好ましくは、厚さが、例えば環状壁の上端において厚さが0.5588ミリメートル（0.022インチ）の公称厚さからテーパする。さらに一例として、壁68の半径方向内面は、スカートの軸に対して8度の公称角度を有し、壁68の半径方向の外表面は、スカートの軸線に対して11度の公称角度を有するのがよい。環状バンド74は、好ましくは、壁68と壁70の間で、シェルのベース部分44の底面に沿って延びる。壁68、70及びバンド74は、好ましくは単一ユニットとして、最も好ましくはクロージャシェル40の材料と異なり、且つそれよりもっと撓みやすい弾性プラスチック材料の圧縮成形によって形成される。クロージャシェル40は、ポリプロピレンのような適当な比較的硬い成形プラスチック構造のものであるのがよい。ライナー42は、エチレン酢酸ビニール（EVA）のような適当な比較的撓みやすい弾性プラスチック構造のものであるのがよい。

30

40

【0011】

チャイルドレジスタント操作モードでは、クロージャ24は、ネック口部の突起36がねじ山ポケット50と合うまで容器のネック口部26にねじ込まれ、突起がポケットに合

50

った時点で、突起がねじ山ポケット50に入る。これが起こっているとき、ライナーの壁68は、容器のネック口部の壁面32に係合し、クロージャが容器のネック口部にさらに取り付けられると壁68の下部分は、ネック口部の壁面に沿って半径方向外方に撓む。タンパーバンド60の停止フランジ66は、提供されるとき、ネック口部のビード38の下に受け入れられる。この完全取り付けでは、クロージャの壁68は、容器のネック口部の壁32と協同して、パッケージを密封し、且つ雄ねじ山ポケット50を外部突起36上に保持するように、クロージャを容器のネック口部から上方に付勢する。停止突起52（図5乃至6）は、ねじ山端54と協同して、クロージャの締め過ぎを防止する。

【0012】

チャイルドレジスタント操作モードにおいてクロージャを容器から取り外すためには、クロージャに、環状壁68の力に抗して力が加えて、クロージャスカートの雌ねじ山ポケット50が、容器のネック口部の外部突起36を離れるように、クロージャをネック口部に関し、下方に押す。ねじ山の突起がねじ山ポケットから外れると、クロージャは容器のネック口部からねじ外しすることができる。クロージャを容器のネック口部からの初期ねじ外しは、停止フランジ66をネック口部ビード38に係合させ、線64で脆弱なブリッジを破断させるので、タンパーバンド60は、クロージャスカート46から分離され、パッケージが開けられたことを示す。

【0013】

クロージャ24を非チャイルドレジスタント操作モードに変換するためには、クロージャは容器から取り外され、クロージャスカート46は、クロージャのベース部分44から線56に沿って切り離される。かくして、クロージャが図9及び10に示されるように、再び付けられると、ライナーの壁70は、容器の開放口内にスナップ嵌めによって受け入れられる。壁70は、好ましくは、円周方向に連続であるから、壁70は容器の開放口の周りでネック口部の壁30の内面を密封する。壁68は、非チャイルドレジスタント操作モードで、二次的な密封を提供する。ライナーの材料の環状バンド74は、非チャイルドレジスタント操作モードで、容器のネック口部とのさらなる密封係合のために、容器のネック口部の上縁に係合する。

【0014】

かくして、非チャイルドレジスタント操作に変換でき、先に述べた目的及び意図の全てを完全に満たす、チャイルドレジスタントパッケージ、クロージャ、及びクロージャの製造方法を開示した。本開示を、現下好ましい実施形態と関連して提示し、多数の変形及び変更を論じた。その他の変形及び変更は、当業者には容易に頭に浮かぶであろう。本開示は、精神及び添付された特許請求の範囲の広義の範囲に含まれるような全ての変形及び変更を含むものである。

【図面の簡単な説明】

【0015】

【図1】開示の実施形態と関連したチャイルドレジスタントパッケージの側面図である。

【図2】図1のパッケージの断片断面図である。

【図3】図1乃至2のパッケージの容器の断片立面図である。

【図4】図3内の領域4の一部拡大断面図である。

【図5】図1乃至2のクロージャに成形されたクロージャシェルの一部立面図である。

【図6】図5内の領域6の一部拡大断面図である。

【図7】クロージャシェルのベース部分に、ライナーを付けたクロージャシェルの断片断面図である。

【図8】図2と同様の断片断面図であり、容器のネック口部から取り外し中のクロージャを示す。

【図9】非チャイルドレジスタント操作モードにおける図1のパッケージの立面図である。

。

【図10】図9のパッケージの断片断面図である。

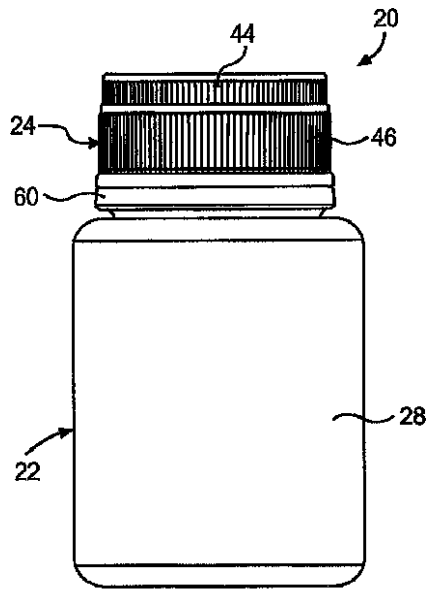
10

20

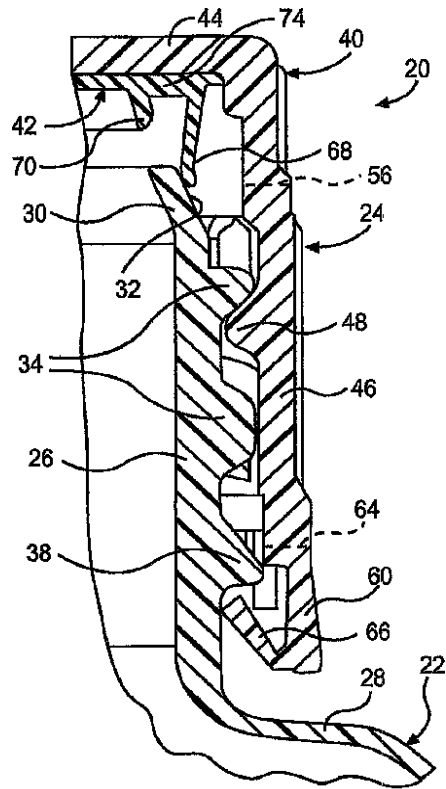
30

40

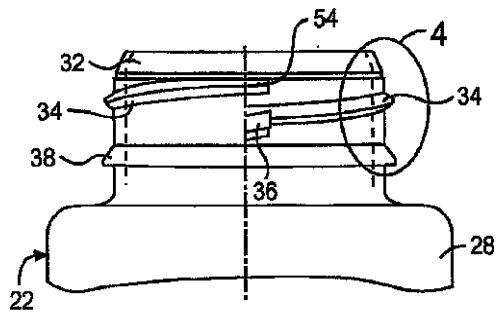
【図 1】

FIG.1

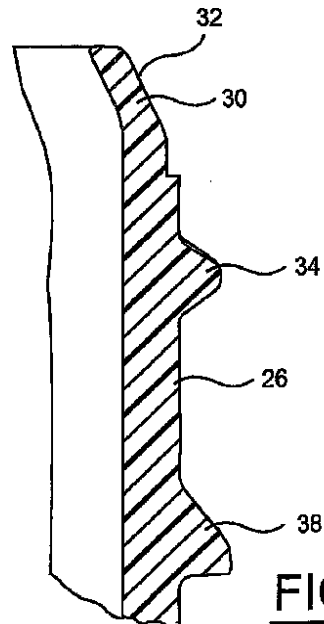
【図 2】

FIG.2

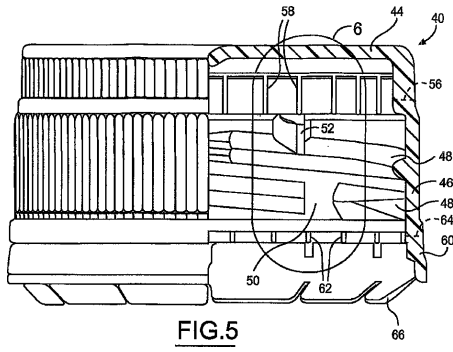
【図 3】

FIG.3

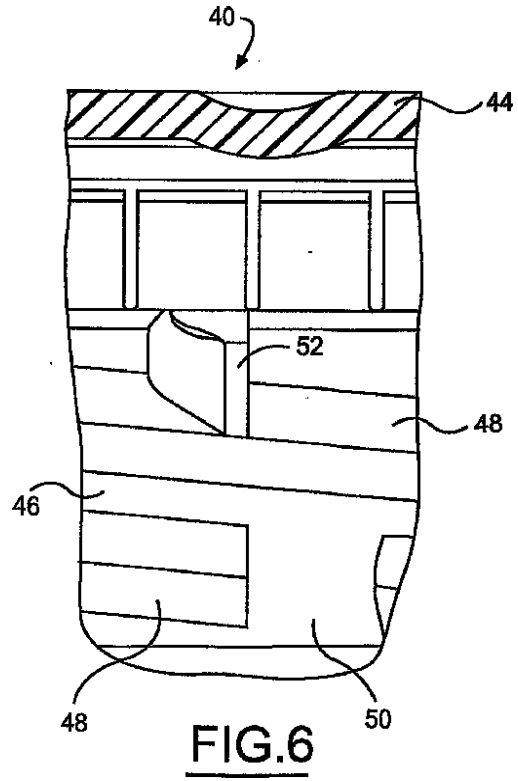
【図 4】

FIG.4

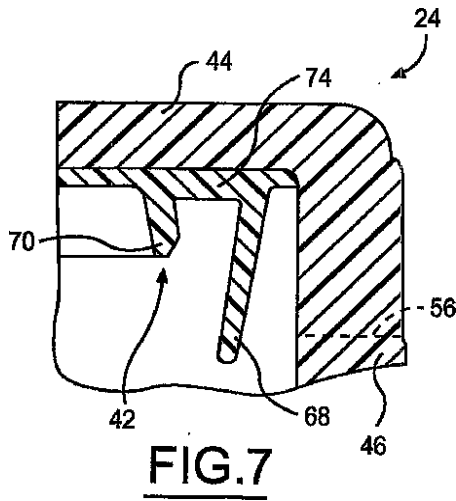
【図 5】



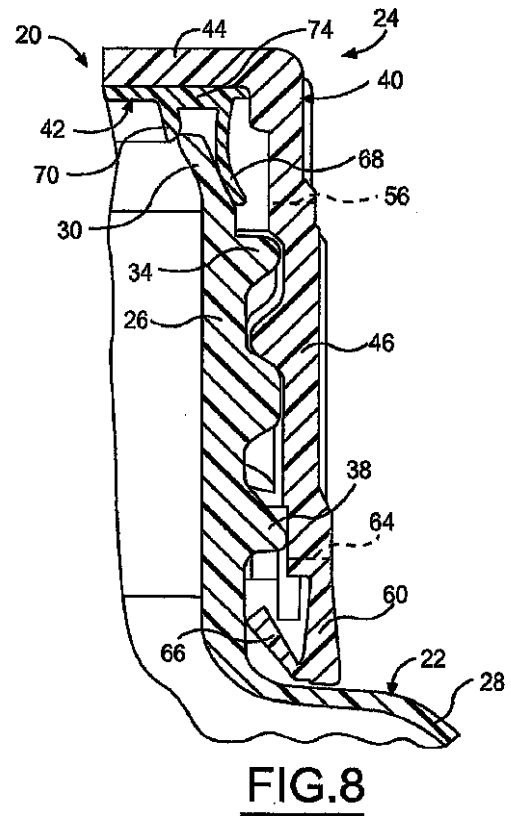
【図 6】

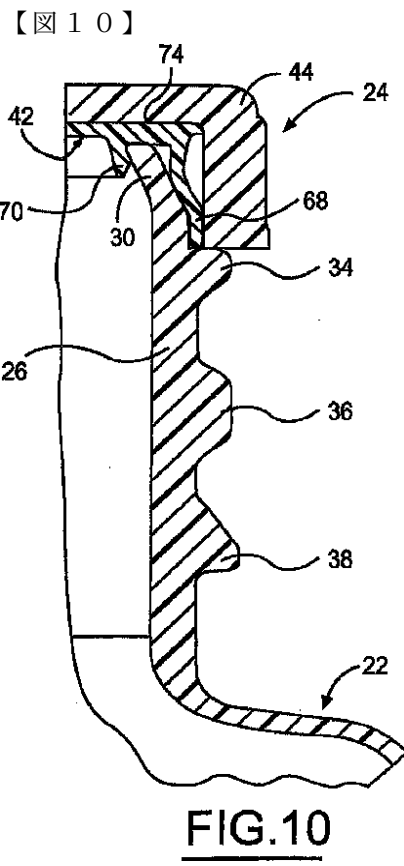


【図 7】



【図 8】





フロントページの続き

(74)代理人 100103609

弁理士 井野 砂里

(72)発明者 シングル ジョン エム

アメリカ合衆国 オハイオ州 43551 ペリーズバーグ オレゴン ロード 29845 ア
パートメント 58

(72)発明者 ネッパー モーリス アール

アメリカ合衆国 オハイオ州 43420 フリーモント クリーヴランド アベニュー 514

審査官 柳本 幸雄

(56)参考文献 特開2003-285852 (JP, A)

特表2008-540274 (JP, A)

米国特許出願公開第2004/0173562 (US, A1)

米国特許第3952899 (US, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B65D 35/44-35/54

B65D 39/00-55/16